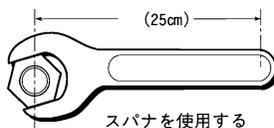
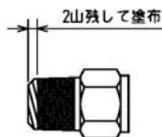


4. 取付手順

手順：高圧ホースと集合装置の根元バルブを接続する

- ① 高圧ホースの出口接続ねじ先端部2山残し、耐LPガス用のシールテープを塗布してください。
- ⚠ シールテープが管路中に侵入しないよう注意してください。
- ② 接続に際しては、圧力調整器、又は集合装置の根元バルブ等にスパナを2丁掛けで適切な力でねじ込んでください。締付トルクは25cmのスパナを用いて20N・m程度の力でねじ込んでください。
- ③ 高圧ホースの設置工事を終了したときは、必ず液化石油ガスの保安の確保及び取引の適正化に関する法律で定められたガス配管の気密試験を実施し、安全確認をしてください。



5. 維持管理

⚠ 警告

- ・高圧ホースを保管される場合は、ホース本体の劣化防止のため直射日光を避け、温度の低い場所を選定し極端に曲げないようにしてください。製品の長期間の保管は避けるよう在庫管理に努めてください。
- ・高圧ホースのカシメ部やホース本体等にガス漏れが発見された場合には、ガスの使用を中止し直ちに新品と交換してください。
- ・高圧ホースは接続部からのガス漏れを防止するため、Oリングが付いています。破損・劣化等が見受けられた場合には直ちに交換してください。
- ・容器交換時、接続部に砂や異物が付いている場合は布などでふき取ってから接続してください。
- ・容器交換時、接続部先端を手で押さないでください。LPガス（液状）が噴き出てくる恐れがあります。
- ・入口接続ねじ・出口接続ねじ及びカシメ部に著しい錆や変形、ホース本体に亀裂・ひび割れ・切傷・磨耗等異常が発見された場合は、ガス漏れやホース本体の抜けなど事故につながるおそれがあります。直ちに交換してください。
- ・この製品の交換期限は製造後10年です。また、交換期限内でも性能等に異常が生じた時は新品と交換してください。製品には交換期限を明示したシールが貼付してあります。

販売元

矢崎エナジーシステム株式会社

本社 〒108-0075 東京都港区港南 一丁目8番15号Wビル下



LPガス販売事業者
LPガス工事施工者
の皆様へ

液流出防止弁内蔵型液相用高圧ホース
取扱説明書
RHS-600SCL、RHS-1000SCL、RHS-600HCL、RHS-1000HCL

取付工事は、液化石油ガス設備士の資格を有する方が行ってください。

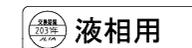
この取扱説明書は主としてLPガス販売事業者・LPガス工事施工者の方を対象に**1. 製品説明**、**2. 安全のために**、**3. 設備工事**、**4. 取付手順**、**5. 維持管理**、**連絡先**の順に作成してあります。お客様に安全・快適にLPガスをご使用していただくため、液化石油ガスの保安の確保及び取引の適正化に関する法律・同法施行規則・告示並びに例示基準・LPガス設備設置基準及び取扱要領等の基準を遵守するほか、この取扱説明書を良く読んでLPガス設備の安全を図ってください。

なお、この説明書で ⚠ は警告を表わしたものです。

1. 製品説明

液流出防止弁内蔵型液相用高圧ホース（以下、高圧ホースと呼ぶ）は、LPガス容器バルブと集合装置の根元バルブ等に接続して使用する高圧ホースです。この高圧ホースには液流出防止弁が内蔵されていますので、LPガス容器交換時にLPガス（液状）の流出を防止する機構になっています。

- ⚠ この製品は、（一財）日本エルピーガス機器検査協会の検査に合格した製品です。マークを確認してください。
- ⚠ 製品には「保証書」を同梱してありますので確認し、保管してください。
- ⚠ 交換期限を明示したシールには、液相用の表示があります。ご確認ください。

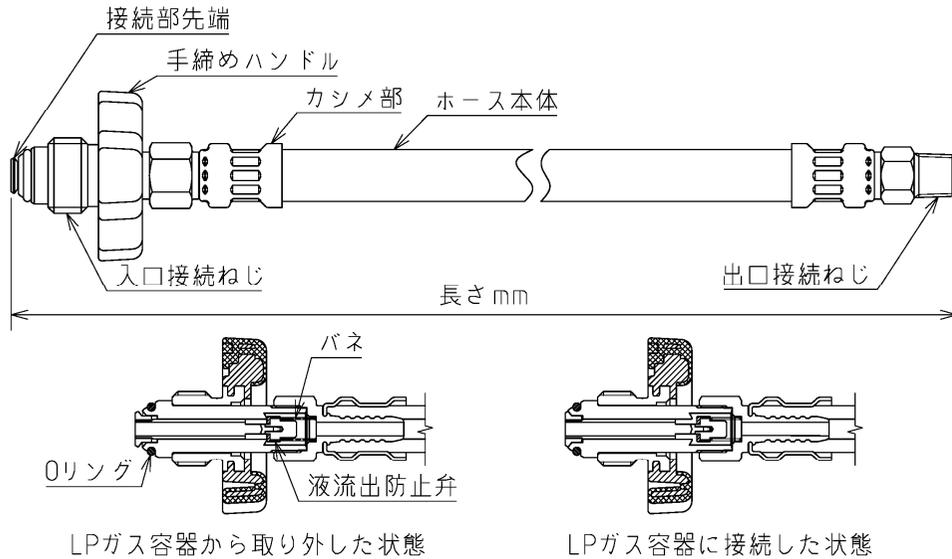


LPA検査合格証紙 交換期限シール

主な仕様

型 式	RHS-600SCL	RHS-1000SCL	RHS-600HCL	RHS-1000HCL
全 長 (mm)	650	1050	650	1050
使用圧力 (MPa)	0.07~1.56			
入口接続ねじ	POLナット (スパナ締め)		POLハンドル (手締め)	
出口接続ねじ	R1/4			
気密試験圧力 (MPa)	1.56			
耐圧試験圧力 (MPa)	2.6			

〈各部の名称〉



2. 安全のために

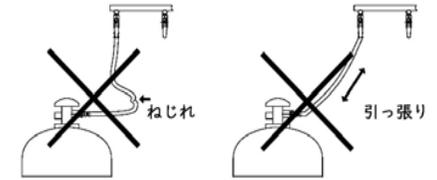
警告

- ・この製品は、工場で精密に組み付けた物です。分解、改造等をするとうガス漏れ等による事故が発生する原因となりますので絶対にしないでください。
- ・高圧ホース・LPガス容器・圧力調整器等は火気より2m以上離れた通気の良い屋外に設置してください。ただし、2m以内の場合には不燃性の隔壁でさえぎってください。
- ・製品の損傷を防止するため、引っ張りや衝撃を与えないよう丁寧に取り扱いってください。
- ・入口接続ねじ・出口接続ねじ及びカシメ部に著しい錆や変形、ホースに亀裂・ひび割れ・切傷・磨耗等異常が発見された場合にはガス漏れやホースの抜けなど事故につながるおそれがあります。直ちに交換してください。
- ・ガス漏れ事故等の発生防止のため、高圧ホースを勝手に脱着しないよう、その旨の注意事項を消費者に周知・徹底をお願いします。
- ・高圧ホースを保管する場合は劣化防止のため、長時間の在庫にならないようご注意ください。保管は直射日光の当たる場所や高温多湿の場所は避けてください。

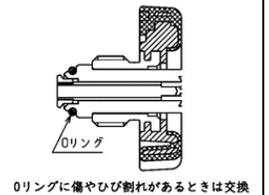
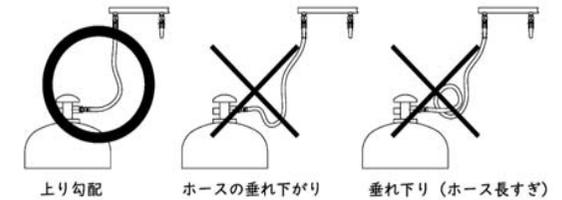
3. 設置工事

警告

- ・高圧ホースの設置・取付工事は、液化石油ガス設備士自らが施工してください。
- ・高圧ホースは、アンモニア、亜硫酸ガス等の有害なガスの影響を受けるおそれのある場所には設置しないでください。
- ・高圧ホースを雪害・落下物等のおそれのある場所に設置する場合には、収納庫等で適切に保護してください。
- ・LPガス容器は鉄鎖等で堅固に固定してください。高圧ホースにねじれ・引っ張り等、無理な荷重がかからないように設置してください。
- ・道路際等に高圧ホース・圧力調整器・LPガス容器等を設置する場合には、いたずらに衝撃等に対する保護処置をしてください。
- ・高圧ホースは火気に近い場所、炎や輻射熱を受ける場所、直射日光等により40°Cを超える場所等には設置しないでください。
- ・高圧ホースを集合装置の根元バルブ等に取り付ける場合は、ガス漏れ等の発生を防ぐため、ねじ部に切粉、切削油、ゴミ等の異物がないことを確認してから接続してください。
- ・高圧ホースの出口接続ねじには、配管用パイプレンチをスパナ代わりとして締め付けしないでください。キズが付き腐食の原因となります。



- ・高圧ホースは、再液化ガス及びドレン等が溜まるのを防ぐため、垂れ下がりをつくらぬよう適切な長さのものを選定し、LPガス容器から上り勾配になるように取り付けしてください。
- ・LPガス容器のバルブ接続部からガス漏れ防止のため、高圧ホースのOリングを傷つけないよう注意してください。万一、傷つけた場合は新品のOリングと交換してください。
- ・気密性を保つため、ねじ部等に衝撃を与えないよう取り扱いってください。



Oリングに傷やひび割れがあるときは交換